

# 参 考 資 料

## 平塚駅周辺放置自転車対策及び自転車駐車場の再整備計画

平成 20 年 7 月現在

### 1 趣旨

平塚駅周辺の駅前広場、道路上に置かれている自転車等は、歩行者の通行を妨げ、防災活動の障害、盗難の誘発、都市の美観を損なう等多数の問題を生じている。さらに、現在の交通状況、経済情勢、地球温暖化対策等から、さらに自転車利用は増大する状況にある。

本整備計画は、以上の状況をふまえ、駅周辺の交通環境の整備と自転車等の駐車秩序の確立を図ることを目的として推進する。

### 2 現況

(1) 駅周辺の自転車・バイクの利用台数は、駅北口・南口の有料・無料自転車バイク駐車場の12,242台(有料4,666台・無料7,576台) 放置された状態の自転車・バイク分1,666台を合わせると13,908台の自転車・バイクが駐車している(平成19年10月現在)。特に、駅前大通り線の歩道上は常時2重・3重の状態ですべて駐車されており、歩行者の通行の障害となっている。また、パールロード、公園通りの歩道上も放置された自転車が多数ある。

市では駅周辺に自転車放置禁止区域の指定など対策を実施していますが、(表1)に示すとおり収容する自転車駐車場の絶対的な不足もあり十分な効果が得られていない状況にある。

(表1) 無料自転車バイク駐車場

	施設名	位置	設計台数		駐車台数(現状)	
			自転車	バイク	自転車	バイク
1	西口バイク自転車駐車場	紅谷町1389-3	1,200	(696)	1,500	(696)
2	西口臨時自転車駐車場	紅谷町1389	1,000		1,600	
3	駅前大通線自転車駐車場	明石町、宮の前	1,500	300	1,800	480
4	錦町第2自転車駐車場	錦町7-7	100		100	
5	錦町公園南自転車駐車場	錦町3501-3外	400	200	400	200
6	宝町自転車駐車場	宝町1524-14	700	100	700	100
合計			4,900	1,296	6,100	1,476
無料駐車台数( )分は有料				6,196		7,576

### 3 放置自転車の対策について

#### (1) 放置自転車の状況

「平塚市自転車の放置防止に関する条例」に基づき、駅周辺を自転車放置禁止区域に指定し放置自転車の撤去、整理を行っている。放置自転車は、パールロード、公園通りを中心に最大で1日に自転車バイク1,666台があり、定期的に整理、撤去を行っているが、収容する施設も満車状態にあるため歩道確保のための整理を行っているのが現状である。

## (2) パールロード、公園通り

パールロード、公園通りの自転車・バイクは買物客、学生及び商店街従業員等の利用が大半である。この自転車・バイクを新規に建設が予定されている西口東地自転車バイク駐車場の一時利用駐車場に誘導することになるが、全てを誘導させることは難しい。

この対策として、パールロードについては、歩道上に買物客用駐車施設を整備する提案が振興組合からあるが、東海道本通りについても同様の対策が講じられるのか検討する。

## (3) 駅南口周辺

駅南口有料自転車駐車場については、現在のところ一部を除き足りている状態である。しかし、郵便局、金融機関、駅ビル、スーパー等に買物等で来ていると思われる自転車が放置された状態にある。

この問題に対応するには、定期貸しの駅南口有料自転車駐車場を一時貸しの自転車駐車場として再整備をすることで対応していきたい。

## 4 自転車駐車場の整備計画について

無料自転車バイク駐車場と放置自転車バイクの状況は上記のとおりで、これらの問題を解決するため(表2)のとおり整備有料化を行う。

対象となる台数は、無料自転車バイク駐車場分7,576台(表1)と放置自転車バイク1,666台の9,242台である。西口東地、西地には5,743台収容の自転車駐車場を整備し有料とします。

駅前大通り線、錦町第2、錦町公園南、宝町の各駐車場を有料化し1,910台分を確保します。

### (表2) 整備有料化予定

有料化整備順序 (予定)	施設名	収容台数 (施設整備後)		利用形態
		自転車	バイク	
	西口東地自転車バイク駐車場(新)	2,431	972	定期・一時
	西口西地自転車駐車場(新)	2,340		定期・一時
が完成後順次有 料化整備	駅前大通り線自転車駐車場	850		定期
	錦町第2自転車駐車場	80		定期
	錦町公園南自転車駐車場		300	定期
	宝町自転車駐車場	600	80	定期
	合計	6,301	1,352	7,653

## 5 その他

自転車駐車場再整備計画により整備した後に、現在数と比較すると1,589台分が不足する。他市の例をみると、有料化実施後には利用台数が2割程度減少していることから利用者の動向を確認することが必要である。

市営の自転車駐車場を有料化することにより民間の参入も期待されます。民間の活力を利用し駅東西の収容台数の均衡を図ります。また、駅地下通路の活用の可能性も検討し、将来的には駅前大通り線の自転車駐車場の廃止を図り、歩行者の安全確保と景観保持を推進します。